平成２６年度　第２回　滝川市子ども・子育て会議　議事録【概要】

平成 26 年 6 月 24 日（火）
14 時 00 分～
市役所８階　大会議室

１．開会（進行：子育て応援課　前田課長）
２．委員紹介・・・小野委員に代わり内潟委員
３．保健福祉部長あいさつ
４．議事（進行：田代会長）

①ニーズ調査の結果について（事務局より説明）

委員　　調査の回収率については、40%とのことだが、大体このような感じなのか。

事務局　　次世代育成支援後期行動計画策定の際にも同様のアンケート調査を実施したが、その際の回収率は 41.3%だったので。おおよそ同じ回収率となったところである。

委員　　膨大な調査・アンケートだったが、この資料は今後どのように使うのか。

事務局　　今回のアンケートは設問も含め、すべてインターネット上で公開の予定。

委員　　もう少し突っ込んで考えたいのだが、考察を加える必要があるのでは。

会長　　この調査では、色々注目すべきご意見も沢山あるし、やはり市としての課題も入っていると思う。それをどのように、どこに具体的に反映していくかということをアンケートを取った以上返さなきゃならないだろうと思う。だから報告だけではなく、これはこういう具体策でこういう事業に活かしていくとか、そういうことも必要なので聞かれたと思う。

事務局　　アンケート自体は、こういう調査をやってこういうご回答をいただきましたということで、一応完結をしてしまうと思っているが、ここでいただいたご意見は、計画にどう反映させるのかということが問われるとは思うので、次回以降、計画づくりの部分でご意見をいただく際にも、このアンケート結果を踏まえる形で協議をさせていただく必要があると思っている。

委員　　アンケートを取るというのは、それをどう使うかというところだと思う。説明されたように、まず住民のニーズはこうなりましたよと知らせる事が第一義的な目的だとしたら、それはそれでよしとしないといけない。しかし、こういう傾向が見えた、だから市の計画の中で、どう使うかということを心のどこかに置いておかないと。せっかくこの膨大な、まとめるのも大変な作業だったし、エネルギーを使ったものだから、どこかで使われることを希望したいと思う。あまり条件をつけずに。

事務局　　５年前とその５年前、国の次世代育成支援の法律の中で、その時もアンケートをとり、それに対して施策、色々な子育て施策もろもろやってきたが、５年経ったらどうだということで比較できている。今回も全てではないが比較できる部分がある。当然いろいろな要望はあり、全てが実施できるわけではないが、新たな発見もある。すべてのニーズが解決できるとは限らないが。今日的な市民の皆さんの状況が分かるということで。そういう分析、ポイントごとの考察が必要だし、今後やっていきたい。

②教育・保育提供区域の基本的な考え方の整理について（事務局より説明）

③幼稚園の状況について（事務局より説明）

会長　　②、③については、次回の予告編的な内容であるが、質疑はあるか。（なし

④その他（なし：質疑なし）

―　以降、事務局が進行　―

５．次回の会議日程について

事務局　次回の開催は７月後半を予定している。今回同様、日程調整については個々にご連絡をさせていただき、次回の日程を決めさせていただきたいので、よろしくお願いしたい。

６．閉会

【出席者】猪股委員、船奥委員、堀田委員、種田委員、津野委員、内田委員、宮治委員、田代委員、内潟委員、椿坂委員、深尾委員
【欠席者】尾崎委員、西村委員、東委員、芳村委員